【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第７区分
【発行日】令和7年4月17日(2025.4.17)

【国際公開番号】WO2024/052955
【出願番号】特願2024-545285(P2024-545285)
【国際特許分類】
Ｂ６６Ｂ 11/08(2006.01)
Ｂ６６Ｂ 5/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６６Ｂ 11/08 A
Ｂ６６Ｂ 5/00 D

【手続補正書】
【提出日】令和7年2月4日(2025.2.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
駆動用器具が着脱可能な器具接続部と、エレベーター巻上機の本体から突出する駆動軸に着脱可能な駆動軸接続部と、を有している伝達機構部
を備え、
前記駆動軸接続部が前記駆動軸に取り付けられ、かつ前記駆動用器具が前記器具接続部に取り付けられた状態では、前記器具接続部の軸心を中心として前記駆動用器具が回転することにより、前記駆動用器具の回転力が前記伝達機構部を介して前記駆動軸に伝わり、
前記駆動軸接続部が前記駆動軸に取り付けられた状態では、前記器具接続部の軸心方向が前記駆動軸の軸心方向と異なっており、
前記伝達機構部は、倍力装置と、連動機構とを有しており、
前記倍力装置は、倍力機構と、前記倍力機構に前記器具接続部として接続された入力軸と、前記倍力機構に接続された出力軸とを有しており、
前記連動機構は、前記駆動軸接続部を有しており、
前記倍力機構は、前記駆動用器具から前記入力軸に伝わった回転力を増幅させて前記出力軸に伝え、
前記連動機構は、前記出力軸に連動することにより前記出力軸の回転力を前記駆動軸に伝える
エレベーター巻上機の駆動用器具取付装置。
【請求項２】
前記伝達機構部が前記駆動軸に取り付けられた状態では、前記出力軸の軸心が前記駆動軸の軸心と平行である
請求項１に記載のエレベーター巻上機の駆動用器具取付装置。
【請求項３】
前記連動機構は、前記出力軸に取り付けられた第１歯車と、前記駆動軸に前記駆動軸接続部として取り付けられた第２歯車と、前記第１歯車と前記第２歯車とに巻き掛けられた、前記第１歯車及び前記第２歯車の一方から他方への回転力を伝達する無端状の伝達部材とを有している
請求項１または請求項２に記載のエレベーター巻上機の駆動用器具取付装置。
【請求項４】

前記駆動軸接続部が前記駆動軸に取り付けられた状態では、前記駆動軸の軸心方向において、前記器具接続部が前記駆動軸接続部よりも前記本体側に位置している
請求項１から請求項３のいずれか一項に記載のエレベーター巻上機の駆動用器具取付装置。
【請求項５】
駆動用器具が着脱可能な器具接続部と、エレベーター巻上機の本体から突出する駆動軸に着脱可能な駆動軸接続部と、を有している伝達機構部
を備え、
前記駆動軸接続部が前記駆動軸に取り付けられ、かつ前記駆動用器具が前記器具接続部に取り付けられた状態では、前記器具接続部の軸心を中心として前記駆動用器具が回転することにより、前記駆動用器具の回転力が前記伝達機構部を介して前記駆動軸に伝わり、
前記駆動軸接続部が前記駆動軸に取り付けられた状態では、前記器具接続部の軸心方向が前記駆動軸の軸心方向と異なっており、
前記駆動軸接続部が前記駆動軸に取り付けられた状態では、前記駆動軸の軸心方向において、前記器具接続部が前記駆動軸接続部よりも前記本体側に位置している
エレベーター巻上機の駆動用器具取付装置。
【請求項６】
前記駆動軸接続部が前記駆動軸に取り付けられ、かつ前記駆動用器具が前記器具接続部に取り付けられた状態では、前記伝達機構部から見て前記駆動用器具が前記駆動軸の軸心とは反対側に向けて配置されている
請求項１から請求項５のいずれか一項に記載のエレベーター巻上機の駆動用器具取付装置。